

TAKUMA
PUBLIC HOUSING
COMPLEX

1960年代後半に建設された
約4haの低層団地の3期にわたる建替計画。
熊本市の北東部、
阿蘇へ通じるなだらかな丘陵地で
落ち着いた住宅地である。
このプロジェクトでは3人の建築家が協同し、
多様で開放的な環境を求めて
3人がそれぞれ設計した住棟を混在させている。
団地中央を縦断する
歩行者専用のプロムナード(中央緑道)は、

Kumamoto Artpolis
K・A・P
くまもとアートポリス
熊本県 | くまもとアートポリス事務局
熊本県土木部建築課 ☎096・383・1111(6215)
〒862-70 熊本市水前寺6-18-1

緩やかにカーブしながら
ゲートボール場、児童公園、広場、
せせらぎ等を構成し、
住民の憩いの場となっている。





●建築概要 6・7・9・10・14棟、集会室

この住棟では、各階段室へのアプローチ部分や駐輪スペースが、建物を縦断する幅5mの吹抜け通路やピロティとして建物の一部に取り込まれている。このような構成をとることで、建物に公的な場と私的な場の柔らかなつながりや、屋外と屋内の空間的な連続性を持たせている。この通路は中央緑道や外周道路とも連結し、周囲に開かれた配置計画が取られている。

また、集合して住まうことによって得られる共有スペースの積極的な空間演出とともに、各住戸の居住性の向上を図っている。

●団地データ

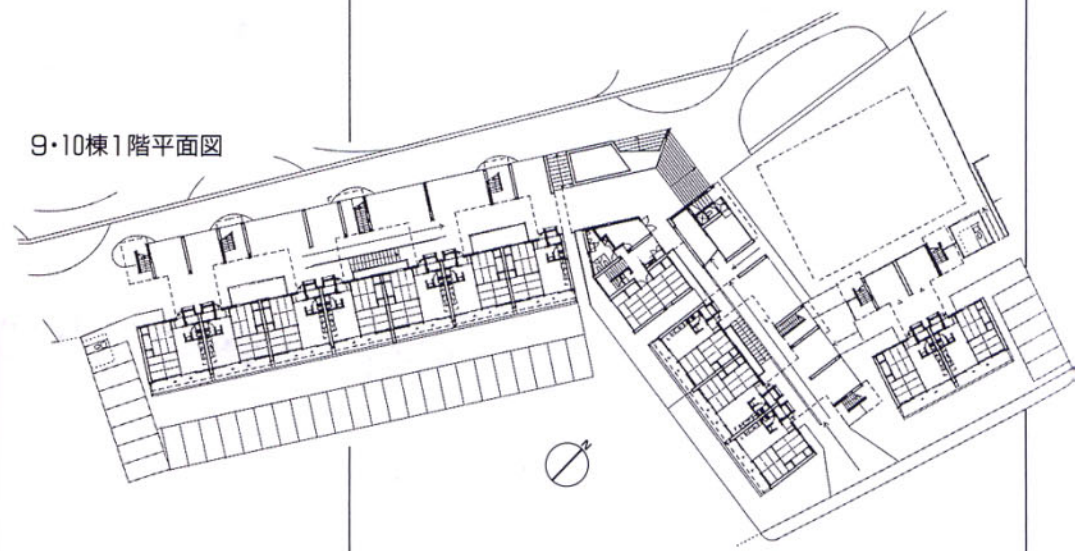
名称／熊本市営託麻団地
 所在地／熊本市西原3丁目2番
 主要用途／共同住宅
 事業主体／熊本市
 設計者／坂本一成＋長谷川逸子＋松永安光
 施工者 中央緑道／神園建設、松永電設(電気)、三信設備工業(衛生)
 屋外電気／岡崎電気工事
 外路灯／アートネオン電飾社
 屋外給排水／肥後設備、広誠設備工業
 ガス／西部ガス
 真空式ごみ収集設備／丸紅
 植栽／サン・グリーン、芝工社造園土木、ぎんなん緑化園
 敷地面積／35,873㎡
 施工期間／1990年12月－1994年4月
 総工事費／5,359百万円



■6・7・9・10・14棟、集会室データ

設計者／坂本一成
 施工者 建築／光進建設・藤建設JV、木村建設・サンホームJV、神園建設
 電気／松本電設社、佐電工、春日電気
 衛生／ダンレイ、第一機工、技研工業
 建築面積／2,976㎡
 延面積／10,184㎡
 階数／地上4階、集合所2階
 構造／鉄筋コンクリート造
 外部仕上 屋根／シート防水
 外壁／コンクリート打放し撥水剤塗布、一部リシン吹付

9・10棟1階平面図



●建築家プロフィール

坂本 一成 (さかもと かずなり)

1943年 東京都生まれ
 1966年 東京工業大学建築学科卒業
 1971年 同大学大学院を経て武蔵野美術大学専任講師
 1977年 武蔵野美術大学助教授
 1983年 東京工業大学助教授
 1991年 同大学教授

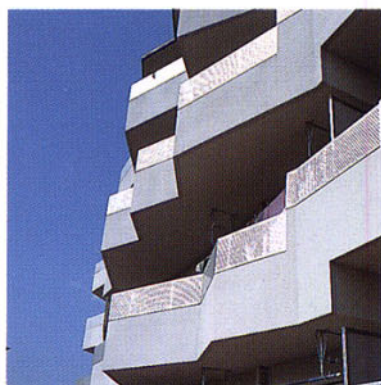
●主な作品

祖師谷の家、水無瀬の町家、代田の町家、HOUSE F、コモシティー星田ほか
 1990年 日本建築学会賞
 1992年 村野藤吾賞



■託麻団地全





■5・11・12棟データ

設計者/長谷川逸子

施工者 建築/光進建設・藤建設JV、酒井建設工業、小田建設

電気/山陽電機工業、沖電気工事、福田防災工業

衛生/明誠設備、リュウ設備工業、栄宏設備工業

建築面積/2,780㎡

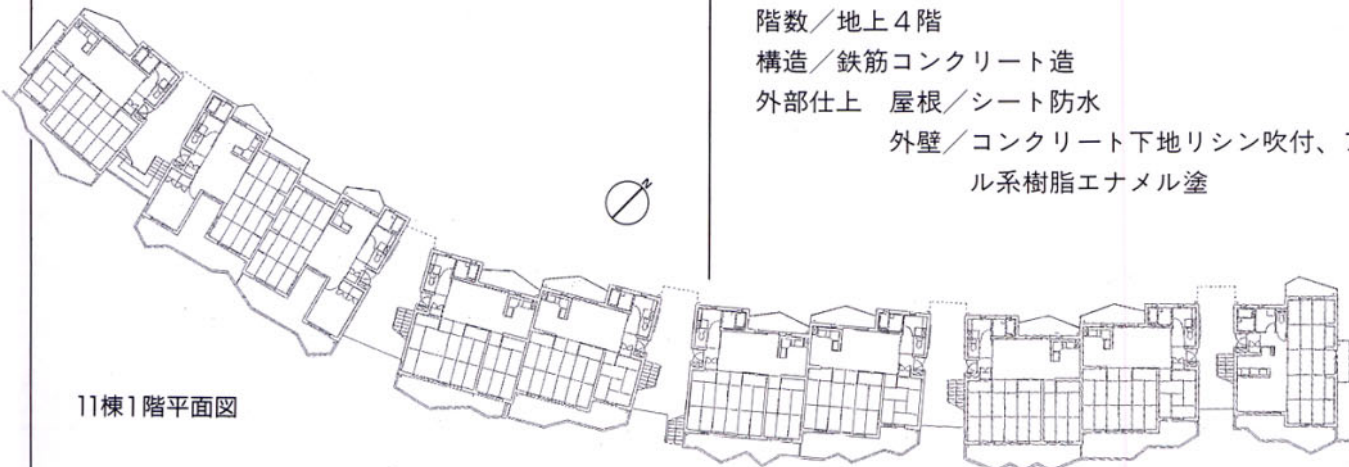
延面積/9,222㎡

階数/地上4階

構造/鉄筋コンクリート造

外部仕上 屋根/シート防水

外壁/コンクリート下地リシン吹付、アクリル系樹脂エナメル塗



11棟1階平面図



●建築家プロフィール

長谷川 逸子 (はせがわ いつこ)

1941年 静岡県生まれ

1963年 関東学院大学建築科卒業

1964年 菊竹清訓建築設計事務所

1971年 東京工業大学篠原研究室

1979年 長谷川逸子・建築計画工房設立

1988年 早稲田大学非常勤講師

1989年 東京工業大学非常勤講師

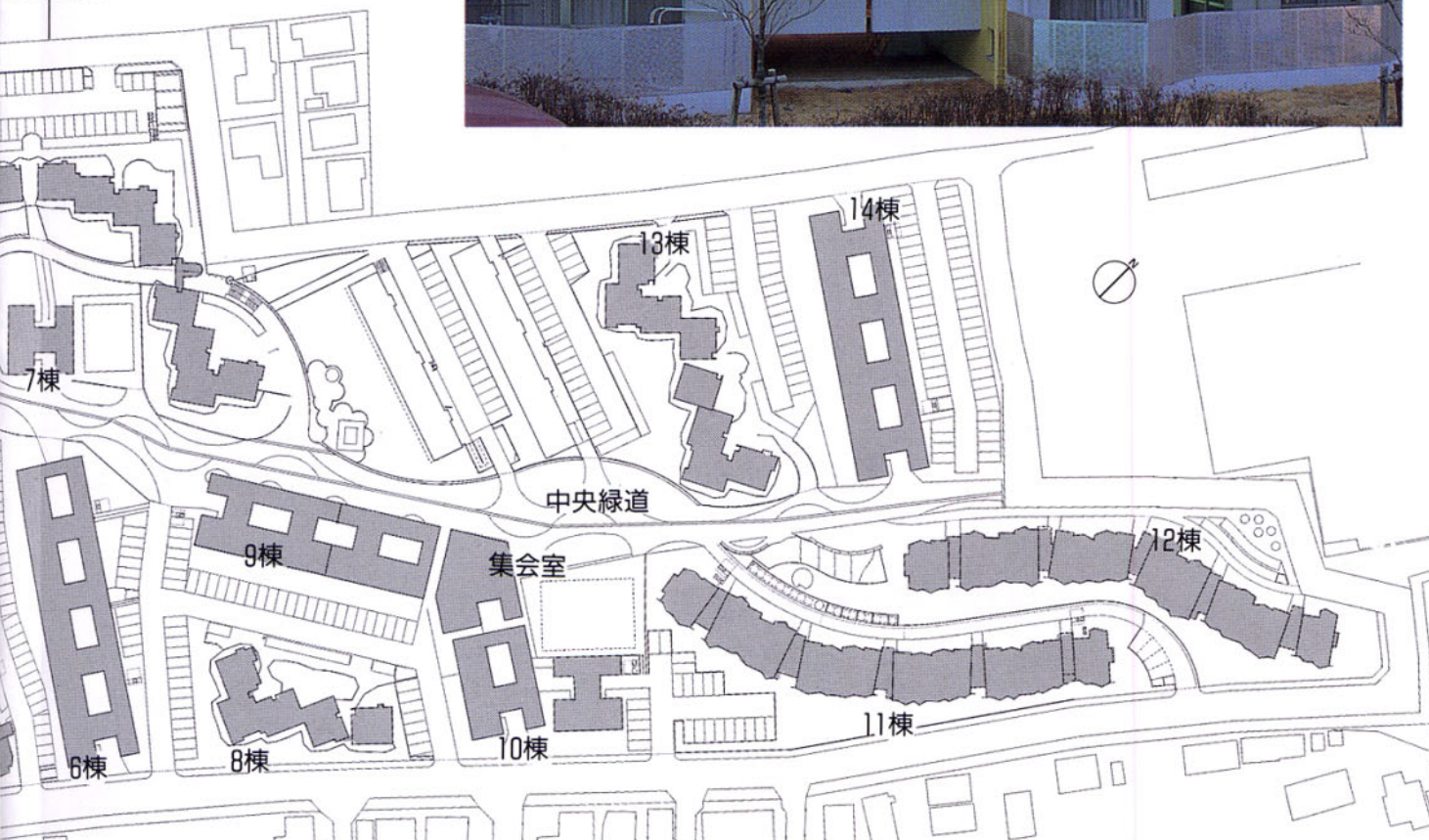
1992年 ハーバード大学客員教授

●主な作品

徳丸小児科、松山桑原の住宅、眉山ホール、富ヶ谷のアトリエ、東玉川の住宅、湘南台文化センターほか

1986年 日本建築学会賞

●配置図



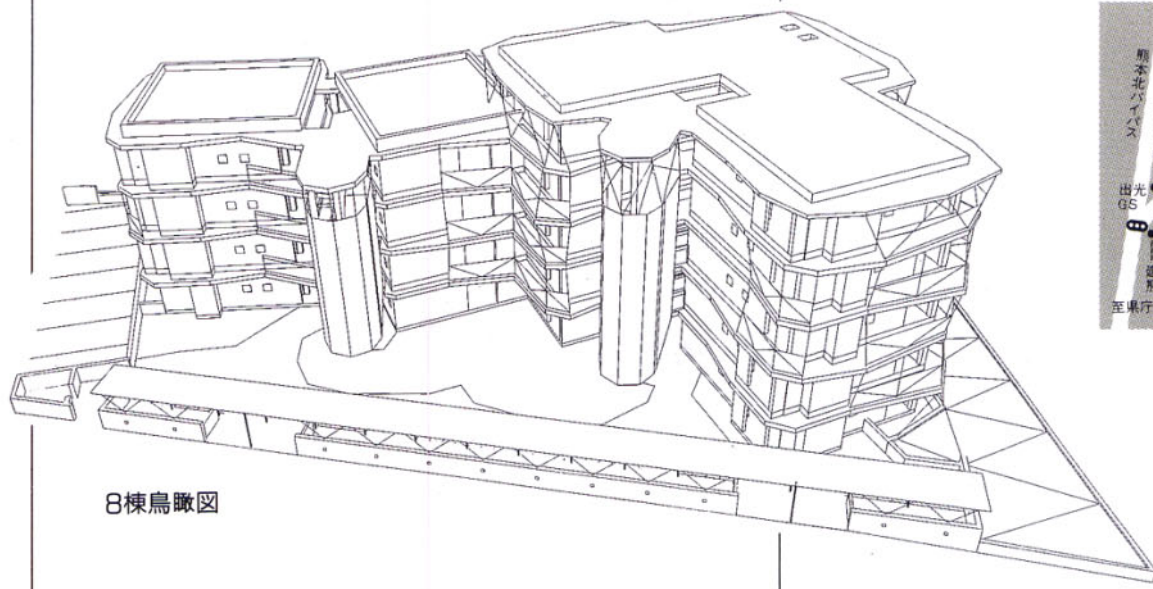


●建築概要 4・8・13棟

不定形かつ流動的な平面を持つ各住戸は、採光・通風・眺望を最大限考慮しつつ、水平に重ねられた床と床の間に自由なパターンで配置されている。各住戸は、フスマによって3つの部屋に仕切られる開放的な主室部分と、水廻り・玄関・個室のある閉鎖的な附室部分に分けられる。開放的な主室部分は、用途・目的に応じて自由に衣替えができる我が国の伝統的な住居の利点を備えるとともに、それぞれ独立したアクセスと採光を確保することにより、プライバシーを保持することも可能となった。

■4・8・13棟データ

設計者/松永安光
 施工者 建築/サンエー建設・杉山建設JV、木村建設・サンホームJV、富重建設
 電気/竹市電興社、滝川電気・浦上電設JV、西武工業
 衛生/熊本電機設備、広誠設備工業、西山商会
 建築面積/2,344㎡
 延面積/9,379㎡
 階数/地上5階
 構造/鉄筋コンクリート造
 外部仕上 屋根/シート防水
 外壁/コンクリート下地リシン吹付



8棟鳥瞰図



●建築家プロフィール

松永 安光 (まつなが やすみつ)

- 1941年 東京都生まれ
- 1965年 東京大学工学部建築学科卒業、芦原建築設計研究所入所
- 1972年 ハーバード大学大学院デザイン学部卒業、TAC入社
- 1974年 芦原建築設計研究所へ復職
- 1980年 SKM設計計画事務所共同主宰
- 1992年 近代建築研究所設立

●主な作品

INSCRIPTION、代田の集合住宅、上板橋の集合住宅、牟礼の集合住宅、Y'S COURT NAKAHARA ほか
 1990年 新日本建築家協会新人賞



PHOTO/石丸捷一、K・A・P事務局